

第8回 神保原駅北まちづくり協議会 会議録

概要

開催日時	令和6年1月22日(月) 10時00分～11時20分
開催場所	上里町役場 大会議室
公開又は非公開の別	公開
出席委員 (敬称略)	為国 孝敏 上野 文一 木村 芳雄 佐々木 輝伸 大田 幸子 坂下 正道 岡本 史靖 毛須 知之 上山 弘志 上村 登
代理出席 (敬称略)	三浦 寿文(高橋 和十四)
欠席委員 (敬称略)	並木 孝之 長沼 克 高橋 祐子 黒澤 望 島田 未夢 茂木 一美
出席状況	委員総数:17名 出席:11名(うち代理1名を含む) 欠席:6名
事務局	上里町 まちづくり推進課 吉田課長 飯島参事 伊藤係長 松本主査 清野主事
	委託業者 株式会社アール・エフ・イー(令和5年度 神保原駅北ウォークアブル推進等検討業務委託) 藤村 龍至 荘 佑竹
傍聴者	2名(うち報道関係者1名)

会議の内容

1.開会 事務局から開会のあいさつ
2.あいさつ 為国会長からあいさつ
3.委員の出席状況報告 神保原駅北まちづくり協議会設置要綱(以下「協議会設置要綱」)第6条第3項の規定に基づき、事務局から委員の過半数の出席が確認されたため、本会議は成立することを報告した。
4.会議録署名委員の指名 協議会設置要綱第8条第2項の規定に基づき、為国会長から「木村委員」、「上村委員」の2名を会議録署名委員に指名した。
5.傍聴者等の入室 神保原駅北まちづくり協議会の会議の公開に関する要綱第2条の規定に基づき、本会議は「公開」にて行い、傍聴者2名の入室を許可した。
6.報告事項 (1) 大型商業施設跡地について【資料1】 事務局から説明
◎質疑なし
(2) 駅北東通り線について【資料2】 事務局から説明

	<p>◎質疑なし</p> <p>(3) ちいさな駅前を旅するマーケット及びまちづくりシンポジウムの開催報告について【資料3】【資料4】 事務局から説明</p> <p>◎質疑なし</p> <p>7.議題</p> <p>(1) ウォークアブル空間配置方針（案）及び駅前通り線形（案）について【資料5】【資料6】【資料7】 事務局から説明</p> <p>◎質疑応答</p>
上山委員	道路拡幅3案について、地権者の影響が一番少ないのは、西側拡幅案という認識でよろしいでしょうか。
事務局	残地の状況を見ますと、一番影響が少ないのは、西側拡幅案だと思います。
上野委員	国道17号との交差点について、横断歩道橋はありますが、横断歩道が無いので、2年前に交通管理者に設置を要望しました。当時の交通管理者の回答は、交通量が少ないこと、北西民地の駐車場が支障になるため、横断歩道は設置できないとのことでした。交通管理者との協議は、念を入れてお願いしたいです。
事務局	地元の意見を聞きながら、交通管理者との協議を進めていきたいと思っています。
上山委員	神保原駅に向かう際に、スピードを出している車を見かけます。道路を拡幅すると、さらにスピードを出すこと、大型車両が誤って流入してくることが懸念されます。また、信号が増えると、信号を避け近道をするために生活道路に入る車が多くなり、事故が増えることが懸念されます。
事務局	今回の拡幅案は、歩道と車道を分離する構造のため、歩行者の安全性に配慮した道路となっています。信号の設置位置については、まだ決定していないため、交通管理者との協議の中で、適切な配置を考えていきたいと思っています。
為国会長	ウォークアブルとは、従来からある歩行者天国やトランジットモールと何が違うのでしょうか。
事務局	歩行者天国等は、既に車と人が多く存在している空間の安全性を高めて保護するものとなります。ウォークアブルは、まちの空いている空間に人を誘致し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」をつくるものとなります。
為国会長	空き家等を使いたい人とマッチングすることにより、まちを使いたい人が積み上がっていき、まちづくりの全体像が見えてくるという認識でよろしいでしょうか。
事務局	ご認識の通りです。
上野委員	「神保原駅北まちづくり基本計画」に「水辺ゾーン」として位置づけられている御陣場川は、一級河川となります。しかし、鉄板が入っており、仮設状態に見えます。また、柿木橋が狭いという課題もあります。地元としては、せっかく駅前の道路を拡幅し、綺麗にするのであれば、この辺りの改善もお願いしたいと思っています。
事務局	御陣場川の様子は、町でも認識しています。御陣場川は、水辺の憩い空間としての活用を考えています。今後、地元の方を中心としたLocal会議の開催を予定しています。Local会議にて、地元の意見を聞き、ウォークアブルの中に反映させていきたいと思っています。
上山委員	数年前に特定空き家の法律が制定され、多くの自治体で空き家の利活用を推進する部署ができました。確認したところ、現在では部署が縮小しているなど、うまくいっていないことが多いで

事務局	<p>す。熱を持ち続けるのは、難しいのだと感じました。空き家の発掘手法について、どのように考えているのでしょうか。</p> <p>空き家の空間の使い方を熟知している建築やまちづくり関係の方を見つけることが重要だと思います。また、行政が間に入り、地元と空き家等を使いたい人をうまく繋げられると上手くいくと思います。</p>
三浦委員	<p>拡幅する道路の幅員は19mでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>現在は19mで考えています。今後、交通量の推計調査次第で変わる可能性があります。</p>
三浦委員	<p>両側の歩道について、幅員はどう考えていますか。</p>
事務局	<p>現在は自転車歩行者道の4.5mで考えています。</p>
三浦委員	<p>自転車歩行者道も含めて合計で19mでしょうか。</p>
事務局	<p>自転車歩行者道も含めて19mになります。</p>
三浦委員	<p>歩行者だけではなく、自転車で生活されている方も多と思います。自転車専用の空間を作るともっと事故が起きにくくなると思いました。</p>
毛須委員	<p>協議中となっている交差点3箇所について、6月のまちづくり協議会では、形が決まっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>協議の状況次第となります。あくまでもまちなか再生ワークショップとLocal会議にて決定した線形を提示する予定です。その時点で交差点協議が進んでいれば、交差点形状も含めて提示します。</p> <p>8.閉会 事務局から閉会のあいさつ</p> <p style="text-align: right;">以上</p>